

旭山動物園への交通アクセスに関する交通対策とその効果
—関係機関が連携した観光交通の円滑化とその効果について—

（独）土木研究所 寒地土木研究所 正会員 ○松 田 泰 明
旭川市 土木部 非会員 藤 原 美 彦
北海道開発局 旭川開発建設部 非会員 松 久 浩
（株）ドーコン 交通部 正会員 坂 本 拓 也
（株）ドーコン 交通部 非会員 工 藤 英 教

はじめに

旭川市立旭山動物園(以下:動物園)は、「行動展示」など、職員自らの発想を活かした手作りの動物園として、全国的に大きな注目を集め、平成 17 年 7～9 月には入園者数が東京の上野動物園を抜いて全国一を記録するなど、道内外はもとより、海外からの来園者数も急増している(図 1)。

一方、市街地から離れた地理的条件や公共交通機関の利便性の低さなどから、その多くが乗用車での来園となっており、休日を中心に動物園周辺で交通渋滞が発生し、来園者へのサービス低下だけでなく、動物園周辺住民の日常生活の大きな支障となるなどの影響を与えていた。

そこで、動物園へのアクセス向上策として、平成 17 年のゴールデンウィーク(以下:GW)の開園に合わせ、各関係機関が連携して総合的な交通対策を行った。

本報文では、それらの取り組み内容と、その効果について述べる。

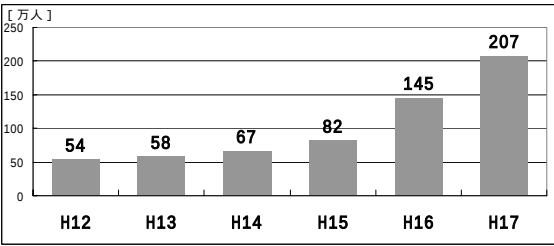


図 1 動物園入園者数の推移¹⁾

1. 旭山動物園へのアクセスの現状と課題分析

自動車交通の現状として 2 つの問題と 1 つの課題があり、問題：主要ルートとなる市内中心部から動物園正面に至る「通称：動物園通」に交通が集中し、大きな渋滞が発生している。：来園者の多い札幌方面からは、アクセス道路がわかりにくく、中心市街地を通過する車両も多い。課題：渋滞規模が小さい他の動物園アクセスルートが複数あり、こちらへの誘導が必要である。

公共交通機関についても現状として 2 つの問題と 1 つ

の課題があり、問題：路線バスは渋滞する動物園通を運行ルートとし、便数も少ない。：動物園近郊に JR 駅があるが、動物園へアクセスする交通機関がない。課題：動物園近隣に臨時駐車場の設置可能な施設があり、そこからのシャトルバス運行など、自動車対策と連携した公共交通対策の導入が必要である。

2. 総合都市交通体系マスタープランにおける基本方針
動物園への交通アクセスの諸問題については、その解決にむけて、総合的な取り組みが急務であるとして、平成 15～16 年度策定した旭川都市圏総合都市交通体系マスタープラン²⁾にて、旭山動物園交通計画の基本施策として、道路案内標識による適切な誘導、駐車場の拡張、公共交通機関の利便性向上、交差点改良、高速・高規格道路の利用促進、などの総合的交通対策を提言している。

3. 具体的な交通アクセス改善施策の実施
大規模な渋滞の発生が予想される平成 17 年 GW 初日(4 月 29 日)に併せ、上述の基本方針を踏まえた動物園への交通アクセス向上の最初の取り組みとして、案内標識追加設置による複数のアクセスルートへの適切でわかりやすい誘導、既存施設を有効活用した臨時駐車場の確保、公共交通機関の利便性の向上、アクセス方法や昨年の混雑状況についての情報提供、など表 1 に示す対策を各関係機関が連携して実施した。

表 1 具体的な交通対策

対策	対策内容
案内板設置	国道・道道・市道等で合計80箇所以上に、共通デザインの道路案内標識を市街地通過交通を北側・南側環状系道路へ誘導する・住宅街など生活道路に流入しないようにするなどを基本的に連続的・体系的に設置
臨時駐車場設置	動物園に隣接する広い工業団地内の民間企業や小中学校や公民館の駐車場の協力を得て約千台分の無料の臨時駐車場を設置 動物園まで無料のシャトルバスを運行
公共交通機関の利用促進策	迂回路を運行するバス路線が新たに導入 バス運行本数を1日11便から合計19便に増便 札幌・北見方面からの特急列車等の一部を近接駅へ臨時停車し、シャトルバスでアクセス(GW限定)
広報や情報提供	自動車で来園、公共交通機関で来園に分けて動物園のホームページ ⁶⁾ (以下:HP)にて詳しく紹介 各メディアに対し積極的に報道依頼を行い、混雑の恐れや公共交通機関の利用、設定した案内ルートの利用を呼びかけ
その他の取組み	GW期間中に岩見沢・砂川の各SA等でチラシを配布、道路情報板による渋滞情報などの提供(東日本道路公社) 各アクセス道路の交通情報収集動物園への効果的な誘導、交通整理、渋滞の原因となる違法駐車を取り締まり(北海道警察)

4. 交通アクセス向上施策の効果

交通アクセス向上施策の効果を把握するため、GW 期間中の来園状況や動物園周辺の交通量調査、インターネットでのアンケート、関係機関へのヒアリング調査等を行った。

表2 効果検証の方針と内容

現状と課題	調査内容	評価指標
自動車交通 ・自動車の来園が多く、動物園通に集中することによる交通渋滞の発生	・動物園周辺の交通量調査 ・動物園周辺の渋滞長調査	・渋滞緩和 ・交通分散状況 ・社会的便益（試算）
交通アクセス ・来園者の多い札幌方面からのアクセスがわかりにくい ・動物園周辺の公共交通アクセス方法が少ない	・インターネットでのアンケート調査 ・関係機関へのヒアリング調査など	・来園者の満足度 ・公共交通利用状況

・交通誘導と分散：期間中もっとも入園者の多かった日の動物園への方向別の流入割合は市中心部である西方向（動物園通り含む）約 3.0 千台（28%）、高速道路旭川北ICへ繋がる北方向約 4.6 千台（42%）、南方向約 3.3 千台（31%）の交通量があり、市中心西方向からの流入交通量が多かったこれまでと比較し、案内標識による誘導により大きな分散効果が確認できた。（参考：平成 16 年のアクセスルート交差点での方向別流入量は、西・北・南の方向別比率が概ね 45%：34%：21% H17 調査地点と同地点ではない³⁾⁴⁾）同時にアンケート調査では「案内標識が役に立った」との評価が追加設置前に比較して大幅に増加した。

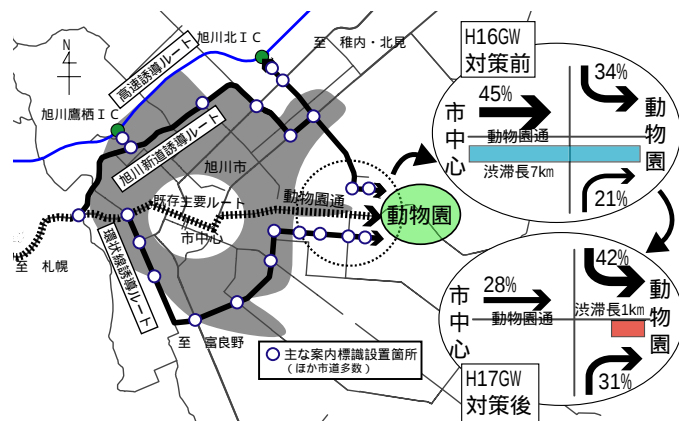


図2 動物園周辺の交通渋滞の変化と方向別交通量

・渋滞緩和：他路線のアクセス路線に交通が分散したことで、昨年は最大約 7kmに及んだ渋滞が最大約 1kmと大幅に減少したほか、混雑解消により渋滞のピーク時には、1 台人当たりの待ち時間が約 1 時間程度減少し、CO₂などの排出ガス軽減等の効果もあった⁵⁾。また、これにより来園者へのサービス向上と共に滞在時間を増加させ、他の施設の利用が可能になるなどの効果をもたらしたと推測される。なお、平成 17 年GW期間入園者は対 16 年比で約 25%減少したことを考慮しても、混雑緩和効果は明確であると判断できる。

・沿道環境の改善：動物園通の交通渋滞は、沿道地区の日

常生活に極めて深刻な影響を与えていたが、今回の対策による大幅な混雑緩和により、苦情がほとんど無くなるなど、沿道住民の生活環境が大きく改善された。

・公共交通機関の利便性向上：公共交通機関については、もっとも混雑した日でも概ね定時運行されるなど、運行状況は大幅に改善されたほか、鉄道・路線バスの乗継キップを利用した来園者数も大幅に増加し、運行ルート上の渋滞緩和による利便性の向上も相まって、公共交通機関の大幅な利用促進が図られた。

表3 対策効果の一覧

		対策前	対策後	増減量
社会的便益	最大渋滞長の減少	7km	1km	86%減
環境面への効果	渋滞損失時間の減少	92分/人	36分/人	60%減
公共交通機関利便性向上効果	路線バス遅れ	最大2時間 半数が30分遅れ	最大25分程度 ほぼ定時運行	
	乗継切符利用者	400人	2,100人	81%増
	案内標識の評価			
	自由回答にて特に評価する記述のあった回答数	0人 (101人中)	71人 (494人中)	
アンケートによる効果	自由意見		わかりやすかった 迷わずに来れた 等 多数	

5. 今後の交通施策のあり方

今後の旭山動物園の交通アクセスについては、既存の社会資本を有効活用しながら、自動車交通対策・公共交通の利便性向上策・適切な情報提供などの総合的な交通対策をバランス良く実施していくことが重要である。これらにより、来園者の自由行動時間を新たに創出し、旭川市内の他施設等へ観光客の周遊を誘導することが可能となり、地域全体への経済波及効果や地域活性化をもたらすこととなる。そのためこの地域の周遊型観光をより一層充実させるためにも交通対策の充実が望まれる。

6. 終わりに

自動車による移動観光が主流の北海道では、近年の団体旅行から個人旅行への転換やレンタカー観光の増加なども相まって、同じ問題を抱える観光地も多く、今回のような取り組みが求められている。従って、観光地での交通課題への対策の効果や社会的便益、投資効果などの評価をはじめ、来訪者や地域住民、そして関係者らの合意形成の手法なども、今後の北海道観光にとっては極めて重要なテーマであると考えている。最後に、今回、課題解決のために連携した全ての関係者に感謝すると共に、今回の取り組みが他の観光地等においても参考となれば幸いである。

【参考文献】

- 1) 旭川市；統計資料，平成 12～17 年度。
- 2) 北海道；旭川都市圏総合都市交通体系調査報告書，平成 14～16 年度。
- 3) 旭川開発建設部；管内交通調査業務報告書，平成 16 年。
- 4) 旭川開発建設部；管内交通調査業務報告書，平成 17 年。
- 5) 藤原，松田，松久；全日本人気の旭山動物園への交通アクセスに関する地域協働北海道開発局技術研究発表会，平成 18 年 2 月
- 6) 旭川市；旭山動物園 HP，

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/asahiyamazoo/sc02.html>。